

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

和歌山県湯浅町 (協力：広川町)

自治体名：和歌山県湯浅町

担当課名：教育委員会 学校教育係

電話番号：0737-63-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	20.8 km ²
人口	10,706 人 R7.2月1日時点
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	2 7 3 人
部活動数	1 5 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和7年度策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

湯浅町は1町1中の学校配置であり、令和6年度湯浅中学校は全校生徒273名の学校規模である。部活動では文化スポーツ部が15種目に入部が可能な状況であり、学校外の地域スポーツでは硬式野球やバドミントンといった中学生が加入できるスポーツ団体が存在している。

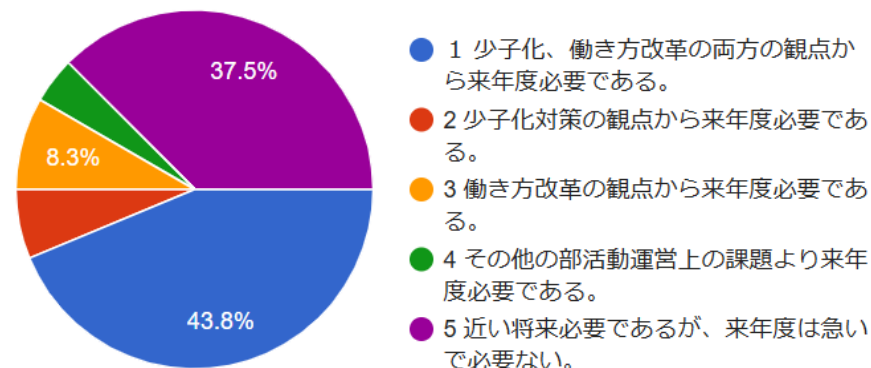
本町の部活動改革において解決していくべきポイントが2つある。1つは、少子化により子供たちの文化スポーツの活動環境が十分に整備されていないという点である。10年後に当たる令和15年度には湯浅中学校の生徒数が現生徒数から100名減少されることが見込まれており、今後教員数、生徒数の減少による部活動の閉鎖が懸念されている。本町だけではなく、有田地方の中学校生徒数を総合的に分析すると、令和15年度には生徒数が約30%減少することが見込まれ、湯浅町単独では減少率約45%という数字も出ている。子供たちが選択できる種目の

減少がさらに深刻化し、将来の子供たちの体験活動が保障できないものとなっている。下記のアンケートのように、教職員の50.1%が少子化対策の観点から部活動地域移行等の対策が必要であると感じている。

2つ目の課題は、1町という狭いエリアの中、部活動指導員や地域クラブ活動を行える指導員を地域人材から全ての種目を確保していくことが非常に困難であるという点である。総合型地域スポーツクラブは設立されているが、指導者が確立されていないことや中学校体育連盟へ主催大会への参加を示すような団体ではないことであり、現状の本町の受け皿と考えることは難しい。また、体育協会に登録されている団体の中で、地域の中学生の体験活動の受け皿となるような意思を示す少年スポーツクラブや競技団体がまだまだ発掘できていない状況である。

【湯浅町広川町教職員アンケート】（R5.11.21実施 n=48）

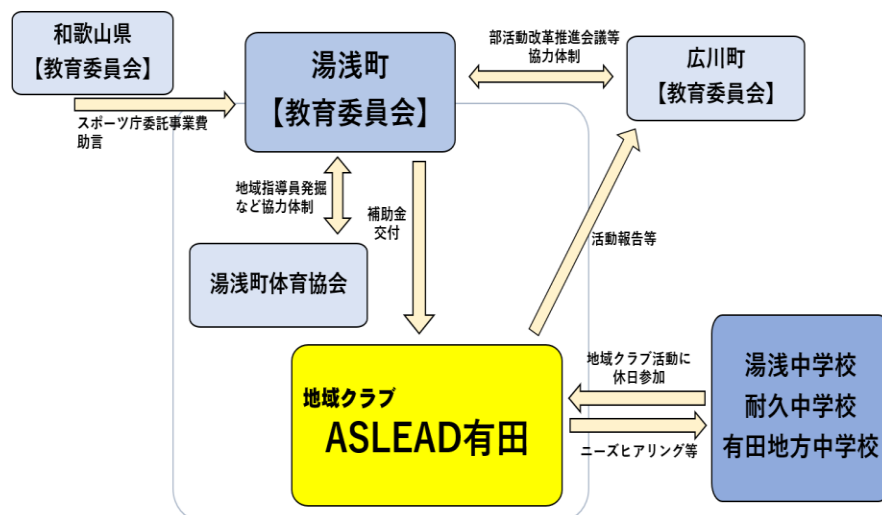
あなたが担当する部活動は、令和6年度部活動改革における地域移行は必要であると考えますか。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・地域クラブASLEAD有田の事務局を置き、各中学校や地域における各部署との会議の連絡および調整や、指導員の地域人材の発掘などにおける事業のコーディネートを行う。

◎首長部局

- ・地域クラブASLEAD有田の地域における周知活動や地域人材発掘における広報活動に協力する。
- ・補助金交付などの調整を行う。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	ASLEAD有田総会の開催
令和6年6月	ASLEAD有田第1回理事会の開催
令和6年7月	中体連主催大会出場
令和6年9月	企業・大学と連携した練習会の開催
令和6年10月	ASLEAD有田第2回理事会の開催
令和6年11月	中学校ヒアリング
令和7年12月	小学生を対象にした体験会の開催
令和7年1月	会員・小学校6年生・教職員を対象にしたアンケート調査の実施
令和7年2月	ASLEAD有田第3回理事会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	4クラブ（3種目）
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（3種目）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	12人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは 末尾に（新）を 付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導員数	会費	大会参加方法
ASLEAD有田 バスケットボール部	教育委員会 設立の地域 スポーツクラブ	バスケット ボール部	月 5 回／ 週 1 回	【練習】 9：00～12：00 【大会・練習試合】 終日	中1：15名 中2：19名 中3：17名	年間	中学校体育館 湯浅町・広川町 公共施設	6人	なし	中体連： 地域クラブ
ASLEAD有田 剣道部	教育委員会 設立の地域 スポーツクラブ	剣道部	月 5 回／ 週 1 回	【練習】 9：00～12：00 【大会・練習試合】 終日	中1：6名 中2：3名 中3：7名	年間	中学校体育館 湯浅町・広川町 公共施設	4人	なし	中体連： 地域クラブ
ASLEAD有田 野球部	教育委員会 設立の地域 スポーツクラブ	野球部	月 5 回／ 週 1 回	【練習】 9：00～12：00 【大会・練習試合】 終日	中1：4名 中2：6名	令和6年 9月より	中学校グラウンド 湯浅町・広川町 公共施設	4人	なし	中体連： 部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 【バスケットボール部】紀陽銀行バスケットボール部ハートビーツ主催クリニック参加
- 【剣道部】和歌山大学開催の練習会参加
- 【野球部】元プロ野球選手における練習会参加
- 【小学校6年生対象】ASLEAD有田体験会開催

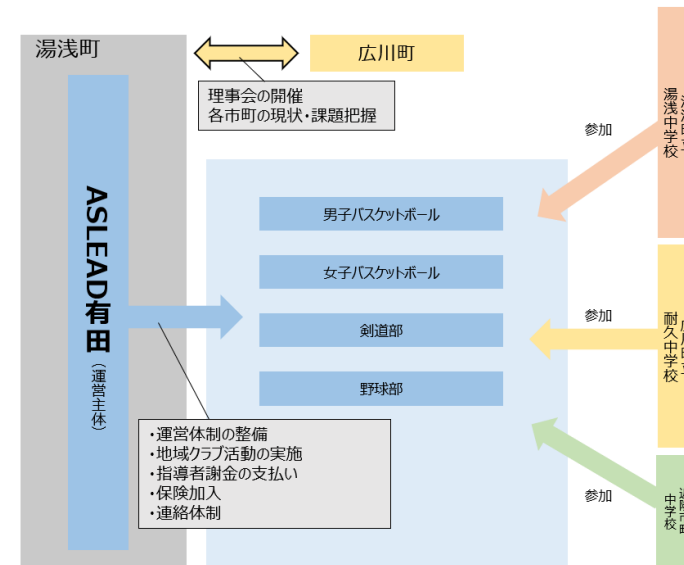
2.実証内容と成果

主な取組例

●地域クラブASLEAD有田 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール部・剣道部・野球部
運営団体名	ASLEAD有田
期間と日数	バスケットボール：年間通じて月5回程度 剣道：年間通じて月5回程度 野球：令和6年9月より月5回程度
指導者の主な属性	中学校教職員、役場職員、消防職員等
活動場所	中学校、湯浅町・広川町公共施設
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	参加費なし（遠征費等別途）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●理事会

役割：教育委員会・体育協会を中心にクラブ運営および管理を行う。

●代表指導員 3名

役割：各種目の地域クラブ活動における代表として、生徒への指導を行う。

●指導員 14名

役割：各種目の地域クラブ活動において、生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

地域クラブ「ASLEAD有田」の事務局を湯浅町教育委員会内に設置し、事務局は総会、理事会、そして学校教職員のヒアリングができるような部会の開催を調整し、コーディネートを行う。広川町の両教育委員会の代表者および指導主事、体育協会委員を招集し、規約の改廃、事業の計画や予算の承認、地域人材の発掘、新たに移行できる文化スポーツの種目の検討、指導員の資質向上を図る研修などの取組を行う。

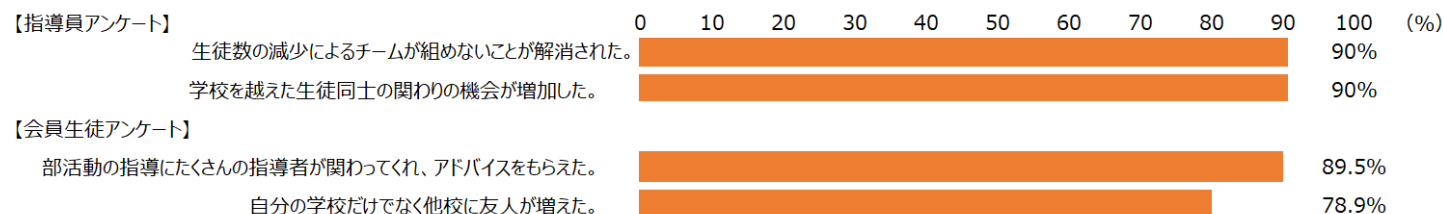
「ASLEAD有田」を設立し、湯浅中学校・耐久中学校の野球部、剣道部、男女バスケットボール部の休日の部活動を、地域クラブ活動として行う環境を整備する。また、生徒や保護者の合意形成が得られた種目はASLEAD有田として中学校体育連盟主催大会に出場できるよう申請を行う。

取組の成果

令和6年度の運営取り組みとして、総会 1 回、オンライン理事会 3 回、管理職をはじめとする学校ヒアリング各校 2 回ずつ行った。地域クラブに対しての地域間での考え方が様々であり、方針を統一していくことに困難が見られたが、生徒・学校のニーズに合わせて活動することが優先できた。特にアンケート調査は、生徒や教職員の困り感を把握し、次年度へのよりよい運営方針の策定への大きな参考となった。部員不足により、これまで大会に出場できなかった生徒を救済できる団体が設立されたことについては、生徒や指導員から非常に評価されており、環境整備について概ね達成できたと考えている。仲間が増えることにより活気を取り戻した選手たちは、練習に意欲的に取り組み、中体連加入の初年度から近畿大会出場といった好成績を収めることができ、生徒の自己肯定感が向上したと考えられる。

【指導員・会員生徒アンケート】

ASLEAD有田（地域クラブ）を運用して、良かったと感じられる効果を選択してください（12項目より選択）



コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターとして、学校教育である学校部活動と社会教育活動である地域クラブ活動をつなぎやすい役職であったため、教育委員会指導主事が務めた。事務局としても活動し、各機関との連絡・調整を行った。また、収支予算の管理や、バスの手配など事務局としての活動を兼務した。

今後の課題と対応方針

初年度運営をして、アンケート結果により挙げられている「地域クラブにおいての生徒指導面」、「広域の交通面」について課題として挙げられている。次年度、指導者の質の向上や運営方針をすり合わせるための研修を行うことや、公共交通の更なる活用と行った対策を講じていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- ・日本スポーツ協会公認スポーツ資格の取得を促進する。
- ・指導員の資質向上のため、スポーツハラスメントやコーチング等研修会やアドバイザーを招へいた講演会を実施する。
- ・体育協会や少年スポーツ競技団体と連携した地域人材での指導員の募集や、企業や大学と連携した派遣指導員を確保する。

種目

- ・女子バスケットボール部
紀陽銀行女子バスケットボール部ハートビーツによるクリニックを実施
- ・剣道部
日本スポーツ協会公認資格 1 名取得
- ・軟式野球部
元プロ野球選手による講習会を実施

指導者属性

職業

- ・教職員 10名
- ・役場職員 2名
- ・消防職員 1名
- ・パート職員 1名

取組の成果

- ・日本スポーツ協会公認資格（スタートコーチ）を 1 名取得し、次年度 3 名の取得予定を予定している。
- ・元プロ野球選手の練習方法やコーチングについて、指導員に向けた講習会を行うことができた。
- ・ASLEAD有田理事会に体育協会会長・副会長を組織することで、情報共有やニーズ把握を行うことができた。



【写真左 元プロ野球選手における指導法を学ぶ地域クラブ指導員のようす】

【写真右 実業団バスケットボールクリニックにおいて指導法を学ぶ地域クラブ指導員のようす】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○地域の公共交通サービスや自家用有償旅客運送等の送迎サービスを利用して生徒の送迎を行う。

○湯浅町内だけでなく、他町と歩調を合わせていくために、各中学校に情報収集および説明を行う。

取組の成果

地域クラブへの参加対象地域が広域になることで送迎負担が大きくなることが懸念されていたが、各エリアの保護者で配車の当番などを決め、柔軟に対応できていると報告を受けている。実際に教職員アンケートで30%、会員生徒アンケートで24.5%が「負担が増えた」という回答しているが、少数に留まっているといえる。また、県内外の遠征に対し、地域のバス会社と連携し、中学校部活動の交通費補助に相当する対応を取ることができた。

【指導員・会員生徒アンケート】

ASLEAD有田（地域クラブ）を運用して、課題だと感じられることを選択してください（8項目より複数選択）

【教職員アンケート】

地域移行を運用して送迎など家庭への実務的な負担が大きくなった。

0 10 20 30 40 50 (%)

【会員生徒アンケート】

送迎などお家の方の負担が増えてしまった。

バス等の運行実績

- ・日数 4日
- ・利用者数 80人
- ・運行経路
湯浅町 → 和歌山市、京都市、大阪市

バス等の運航経費・収入

- ・利用料【目的：大会・練習試合等のバス利用】
湯浅町→京都府（216,960円＊2日間）
湯浅町→大阪市（132,980円）
湯浅町→和歌山市（90,000～100,000円）

今後の課題と対応方針

・へき地において、路線バスの活用を考えていたが、運用本数が少なく、活用しづらい現状があった。今後は、大会や練習試合機会でのバスの活用機会を増やすことや、休日の練習では、生徒を移動させることに加えて、指導者が各中学校の指導に回るといった方式も検討すべきである。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 中学校に設置している運動部活動の一部種目の休日の活動を地域に移行する。
- 湯浅町と同規模の市町と連携を取り、地域クラブの理事会等を開催する。

各自治体の役割

- 湯浅町教育委員会
- 他市町教育委員会、体育協会、総合型地域スポーツクラブと推進会議を行う。
 - 中学校のヒアリングを行う。
 - 本実証事業の会計事務を行う。
 - 保護者への説明会の実施
- 広川町教育委員会
- 湯浅町と合同で推進会議を開催する。

事務局運営の方法

- コーディネーターについて
 湯浅町教育委員会指導主事が兼務して行い、他市町、体育協会、総合型地域スポーツクラブとの連絡および調整を行う。
- 理事会開催・会計事務に関して
 湯浅町教育委員会学校教育係とASLEAD有田事務局の人員を一致させて行う。

取組の成果

- 湯浅町、広川町の2町のための地域クラブ設立であったが、同地方に限り、部員不足により大会参加や練習環境が整備できない生徒に限り、受け入れを行うことができた。
- 中学校校長のヒアリングから、移行が必要な種目を見極めることができた。

今後の課題と対応方針

アンケートの結果より、運用してみても会員生徒の混乱は少なかったと考えられる。しかし、指導員の中の困り感として、中学校部活動の予算面や部活動の意識面で市町差を感じることが挙げられている。学校や地域間のニーズを同時に叶えていくことは難しい課題ではあるが、小中学生や教職員へのアンケート調査の結果をもとに、移行種目を増設を検討していきたい。

【会員生徒アンケートより】
 地域クラブ活動において課題だと感じられたことを選択してください。
 ○運用して課題は見られなかった。（50%選択）
 ○学校の先生と地域クラブの指導員の指導が違い、混乱してしまった。（15.8%選択）

【指導員アンケートより】
 自由記載
 ○違う学校どうしが同じチームとして一緒に遠征に行けるので、生徒の技術面やチームワークが向上した。
 ○部活動のそもそもの熱量や、平日、休日の活動規定において学校差があり、混乱した。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○児童、生徒、保護者、教職員、地域住民のニーズを調査するためのアンケート調査を実施する。

○生徒が地域スポーツクラブ活動の運営に参画して活動を支える機会を設け、体験会や説明会を実施する。

※右表には「元プロ野球選手における軟式野球講習会」の一例を示す。

活動の詳細			
参加人数	80人	指導者数	12人
属性	元プロ野球選手における講習会および小学校体験		
具体的な内容	・ASLEAD有田軟式野球部に向けて元プロ野球選手（現野球パーソナル指導者）に技術指導を行っていただいた。 ・指導員に向けて、技術指導やコーチングの方法を教授いただいた。		
子供の声	● キャッチボールの方法等、普段気にしない大切なポイントに気付くことができた。 ● バッティングの際、常に打球を打ちに行く意識を持つことを再確認できた。 ● 同じ地域の仲間と練習ができて非常に楽しかった。		
関係者の声	● 通常の部活動の練習時間では、体の使い方や自由に考えて練習できる時間が取れないことが多いので、野球以外の体の使い方において勉強となる有り難い機会であった。 ● 同じ地域には、少子化でチームが組めず、中学校で野球を辞めてしまう選手も多い。そのような子供がこの日のように一緒に練習できる環境作りとして今後更に事業を拡大してほしい。		
運営経費	紀三井寺公園野球場使用料 石灰代金 講師謝礼 ※本実証事業費より支払い		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

ASLEAD有田小学生体験会の実施

○小学校の体験会を行い、バスケットボール部4名、軟式野球部3名、剣道部5名に参加してもらうことができた。その際、保護者への地域クラブの説明を行うこともでき、事務局と直接質疑応答ができる機会が設けられた。保護者の感想であるが、「小学校時代から少子化の影響を強く感じてきたため、本事業を進めていくことに強く共感できた」という意見をいただいた。

○体験会は事務局、指導員で企画を行っているが、当日の受付、駐車場係、練習サポートといった運営に対し、会員の中学生が中心となって行った。本事業の趣旨を現会員にも改めて周知する機会となり、地域クラブを会員生徒自身で盛り上げていくことへの意識が向上した。

○右図のとおり、次年度の会員内訳に関して、各中学校単独では大会出場規定の人数に満たない種目がある。体験会参加の小学生の入部や複数校が集まってチームが編成できることを考慮すると、今後も継続して地域クラブ活動ができることが推測できる。

【令和6年度会員生徒内訳 ＊次年度部員数予想のため、3年生を除く】

【男子バスケットボール部】	Y中学校	T中学校	その他中学校	
体験参加小学校6年生	1	0	1	合計 14名
1年生	6	5	0	
2年生	4	7	0	
【女子バスケットボール部】	Y中学校	T中学校	その他中学校	
体験参加小学校6年生	2	0	0	合計 16名
1年生	4	2	0	
2年生	1	7	0	
【男子剣道部】				
体験参加小学校6年生	0	1	0	合計 7名
1年生	5	0	0	
2年生	0	1	0	
【女子剣道部】				
体験参加小学校6年生	0	2	2	合計 9名
1年生	0	1	0	
2年生	0	0	4	
【軟式野球部】	Y中学校	T中学校	その他中学校	
体験参加小学校6年生	0	3	0	合計 14名
1年生	4	0	0	
2年生	4	2	0	

今後の課題と対応方針

○本体験会に出席した家庭には、技術向上のため平日の部活動参加も希望され、転出を検討されているという意見をいただいた。地域の中学校に通学しながら、本地域クラブに参加できるよう、平日の地域展開を検討していくことが課題として挙げられる。

○試行種目のみの体験会であったため、中学校で他種目を検討している児童は対象外となっていた。令和7年度以降も更なる種目の拡大を検討し、生徒自身がやりたい、挑戦してみたいと考えるスポーツの機会確保に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○中学校体育連盟主催大会に係る参加費や登録料、および運搬費を負担する。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

- ・中学校体育連盟登録費（8,000円）
- ・各種目連盟・協会登録費（61,930円）
- ・貸出ユニフォーム等の消耗品費（840,000円）
- ・事務用品（会長印等）

■ランニングコストの分析

- ・指導者謝金（4月～2月 2,902,405円）
- ・旅費（大会バス手配等 441,045円）
- ・保険料（90,980円）

※通常の活動は中学校部活動と同等の捉えとして、中学校体育館や町立体育館などの施設を減免使用している。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和6年2月20日までの支出データより試算している。
受益者負担に必要な金額として、部活動指導員の国費・県費・市町村費（1：1：1）として算出して、令和6年度総事業費試算を行った。

総事業費		4,999,408
町負担（総事業費の1/3と検討して）		1,666,469
内訳	寄付額予想	110,000
	受益者負担	1,556,469
1 家庭負担予想		20,214

収支バランス

収入内訳	項目	金額
都道府県委託料	スポーツ庁費	4,664,796円
	町費負担	224,612円
	保護者負担	0円
自己調達	特定寄附等	110,000円
支出内訳	項目	金額
人件費・賃金	協議会・理事会運営費	16,000円
事業費	諸謝金・旅費等	4,997,808円

令和6年2月20日までの収支バランスを記載している。

支出項目の事業費については、58.1%が地域クラブ指導員に関する謝金である。このランニングコストをどう補填していくのが、今後の課題である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

大きく3つ項目における参加費用負担を実施した。

【保険料】

学校部活動における「日本スポーツ振興センター」における保険内容に相当するものとして、スポーツ安全協会保険に加入している。この費用に関し、町負担を行った。

【活動会場費】

ASLEAD有田を中学校部活動に相当すると捉え、中学校・町立体育館使用費を減免措置を行った。

【大会・練習試合旅費・交通費】

現在中学校では、中学校体育連盟主催の大会参加に関して、町や学校が奨励金や旅費負担を行っている。ASLEAD有田も同等の支援を考え、宿泊費やバス借用費の一部を負担した。

今後の課題と対応方針

スポーツ活動費において、支出が大きいものとし「指導者謝金」、「旅費・交通費」、「借損料」が挙げられる。「指導者謝金」に関しては、中学校部活動は県費として支払われるため、保護者負担は発生していない。ASLEAD有田は中学校部活動の休日の移行団体であるため、部活動との併存として活動している。この項目に保護者負担を求めに行くのは現状

	項目	金額	備考
スポーツ活動費	諸謝金	2,902,405	
	旅費・交通費 (大会宿泊費等)	441,045	
	借損料 (大会練習試合バス等)	629,390	
	消耗品費 (ユニフォーム代等)	849,658	
	雑役務費 (大会参加費)	69,930	
	保険料 (スポーツ保険加入)	90,840	R7より 自己負担検討

スポーツ活動に係る総事業費の合計額4,997,808円を、会員生徒数77名で割ると、1人当たり64,907円参加費用負担を支援していることになる。

(R6.4月からR7.2月 初期費用含む)

の部活動との差を生じ、理解が得られないと考えられるため、今後も国費・町費での対応を継続する。「旅費・交通費」に関しては、個人として活動するものには保護者に負担を求め、団体として大会に出場するものには、宿泊費や交通費の一部負担を検討する。令和7年度より、保険料の保護者負担を検討している。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度より計4度の推進会議を開催し、ASLEAD有田を設立した。運用初年度において、どんな経費が必要であるのか、予算項目を立案すること自体が難しかったが、変更契約を重ねながら少しずつ必要な予算を検討することができた。

特に、「指導員の諸謝金」や「大会に出場に係るバス代」への支出割合が高く、持続的な運営を行うためには、本町の自己負担だけでなく、他市町との負担金の分割や寄附金の募集等、受益者負担の対策が必要であることが見えてきた。

本町の地域クラブ設立の目的は、少子化における大会への出場機会の減少や、練習環境が整備できない部活動への支援であったが、会員生徒や指導員のアンケートからも概ね目的達成に対しての肯定的な回答が得られている。生徒の良い教育環境の一部として、地域クラブ活動が運営されたと考えている。

また、働き方改革への評価として、学校教員が主体となる地域クラブであるが指導員の数を増加させることにより、教員が休みやすくなったという回答が得られているが、まだまだ改善が必要である。

●成果の評価

湯浅町1町では、地域移行は困難であったが、広川町をはじめとする近隣の市町の理解と協力のおかげで、本町の生徒の地域クラブ活動の機会充実を達成することができた。中学校3年生の生徒から、「たった1年であったが、様々な指導員の指導機会に触れることができ、自分自身の性格をプラスに変えることができたような気がした」といった有り難い意見もいただくことができた。少子化対策としての地域移行は、本町や近隣地域のニーズに合ったものであると言える。

また、教職員の働き方改革という視点では、依然として指導員構成に教職員の割合が高いものの、指導員が増えることにより休みやすい環境の整備に繋がったといえる。

初年度の運用により、新たな課題が見えてきているが、地域移行の意義を少しずつ理解していただける機会を設けることができた。

●今後に向けて

課題として、「学校教育と連携した生徒指導の充実」と「広域の交通面」、そして「予算の確保」の3点が最優先なものとして挙げられる。学校教育としての部活動の意義を切り離すことなく、生徒主体で教育活動ができるよう、指導員の質の向上や、指導方針や運営方針の更なる充実に努めていきたい。また、予算面において、「旅費・交通費」の項目について充実させたい。

令和7年度は、教職員や生徒のニーズを把握した上で更なる種目増設することを目指す。また、会員生徒の保険料を保護者負担にするといった対応から無理のない受益者負担を検討し、町で少しずつ自走できる持続可能な地域クラブ活動の運営を検討したい。

2.実証内容と成果②

実証事業を行った後のアンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

【会員生徒回答】

肯定的な回答が多かった質問内容

○部活動の指導にたくさんの指導者が関わってくれ、たくさんアドバイスがもらえた。(86.7%回答)

○自分の学校だけでなく他校の友人が増えた。(80%回答)

○大会および練習試合の機会が増加した。(75.6%回答)

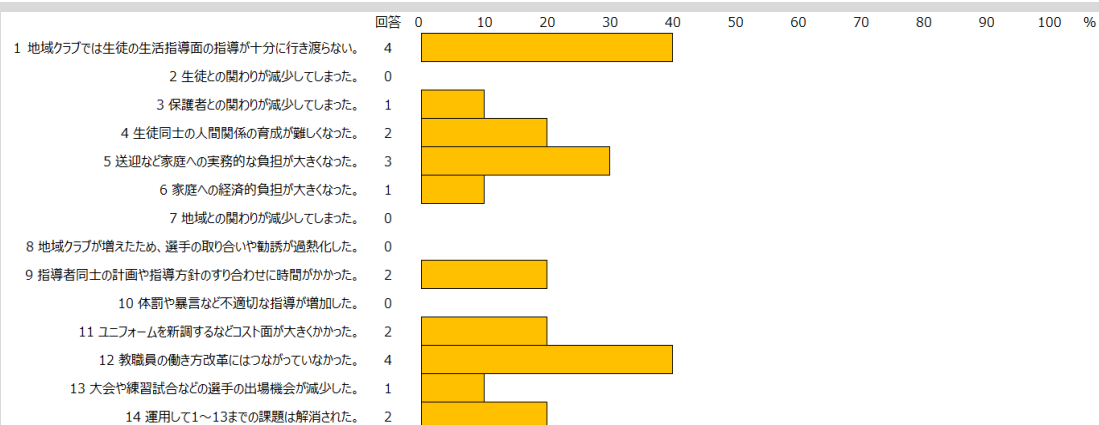
Q.地域クラブで得られた良い効果があれば、自由に記入してください。

○（合同チームとしての活動ではなく）ASLEAD有田に入れたことでチームワークが良くなったし、助け合う場面や声掛けなどが増えた。

○コミュニケーション能力が上がった。

○学校の部活動とやることは変わらなかったのですが、最初の不安ほど混乱はなかったので、挑戦は大切であると感じた。

Q.【指導者】運用してみて依然として課題であると感じることは何ですか。（複数選択可）



●参加者の声

中学2年生 剣道部

中学校1年生の時は、部員数が足りず、大会において団体戦に参加できなかったが、仲間とともに日々頑張ることで近畿大会にまで出場することができ、地域クラブができて良かった。

中学3年生 バスケットボール部

当初はライバル関係にある他校と同じチームになることに戸惑いがあったが、部活の人数が増えることで日々の練習に活気が生まれた。県大会出場もできなかった自分たちが、近畿大会まで出場することができて、自信になった。

指導員

学校部活動では、主顧問1人で指導が大変であったが、休日には4人の指導者がいるため、非常に休みやすくなった。特に、子育てにおいて、以前より休日に少しゆとりをもって過ごすことができるようになった。

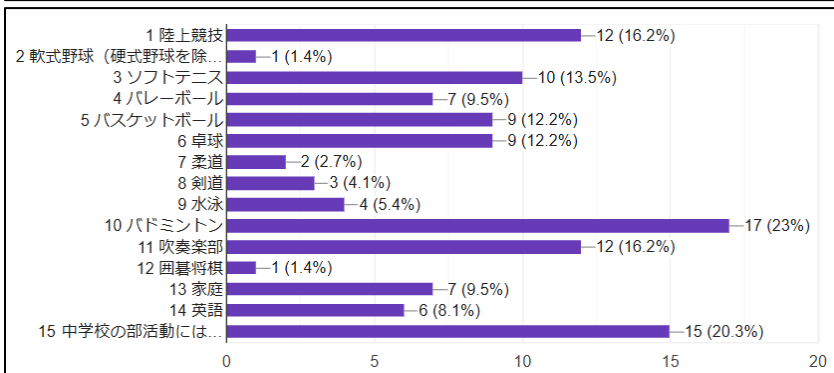
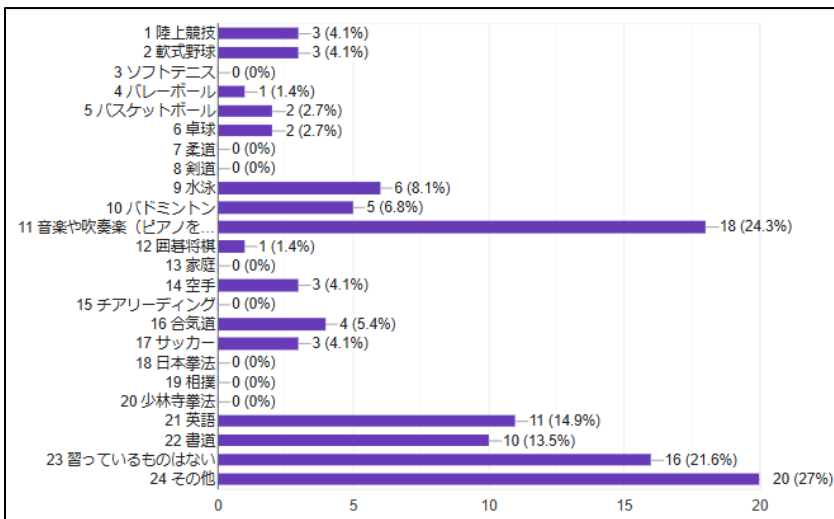
指導員

現状、少子化の影響が大きい湯浅町と広川町でチームを組んでいるが、実は中学校に野球部がなく、辞めてしまっている生徒も多い。その子供たちを救ってあげることができるよう、入部できる地域の拡大を望んでいる。

2.実証内容と成果②

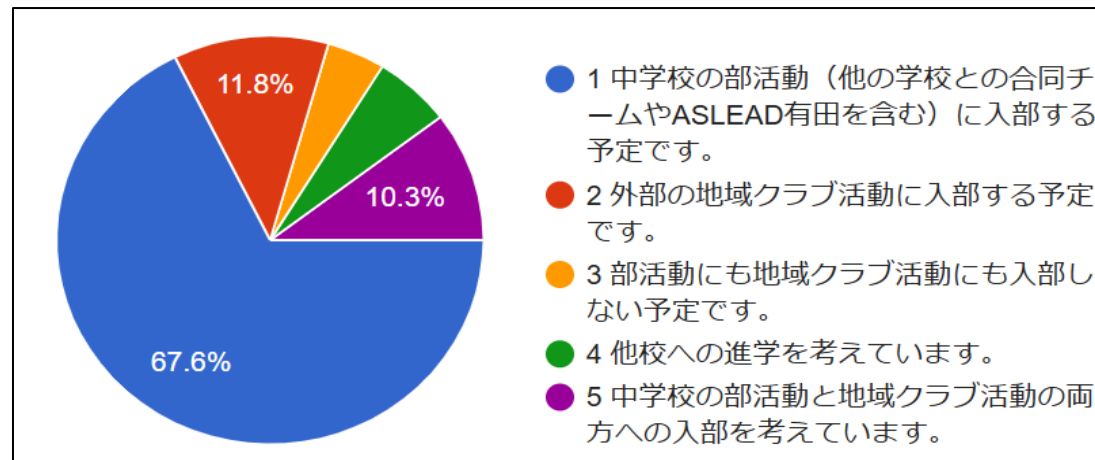
小学校6年生アンケートよりニーズを把握する

●アンケート結果（町内小学生74名回答）



【上グラフ】 今習っている種目はありますか。

【下グラフ】 町内中学校の部活動でやってみたい種目は何ですか。



【円グラフ】 中学校の部活動に入部しますか。それとも、外部の地域クラブに所属しますか。

分析と今後の課題

小学校6年生の現状として、約80%の児童が習い事に通っているが、全体の43.2%（32名回答）がスポーツクラブに所属していることが分かった。中学校での部活動に入部するか、地域クラブへ入部を検討しているかは児童によって違うが、「どちらにも入部しない」を検討している児童が4.4%（3名回答）と少数であり、ほとんどの児童が何かしらのクラブ活動を行うことを検討していることが分かる。上下のグラフ比較からも分かるように、どの種目にも小学生のニーズがあることが伺える。また、中学校部活動への入部予定が67.6%に上り、依然として中学校部活動の需要が高いと言える。学校の部活動再編を検討しながら、地域移行を同時に進めていく必要があると考えられる。

一方で、町内中学校にやってみたい部活動がないと答える割合は20.3%もいることが分かる。その中の要望として、少数ではあるが、サッカー部、ダンス部、男子バレーボール部、弓道部への入部を望む声があった。今後も当事者のアンケートを行い、ニーズを十分に見極めていくことが必要である。

2.実証内容と成果③

体験会や寄附金の広報資料

①ASLEAD有田体験説明会チラシ配布

湯浅町・広川町小学校 6 年生および保護者に周知

②ASLEAD有田オンライン保護者説明会チラシ配布

試行種目保護者に周知



小学校 6 年生対象
ENJOY 地域クラブ活動
ASLEAD有田
体験説明会
初心者大歓迎
軟式野球部・男女バスケット部・剣道部
令和 6 年 12 月 7 日 (土) 開催
※ 12 月 2 日 (月) 申込
午後 13:15 受付開始
13:30 説明会開始 内容
① 児童・保護者への説明会
② 申し込み種目の体験会
(バスケットボールは上履きを用意ください)
16時終了予定としております。
保護者の方も是非ご参加ください。
動きやすい服装で来てください。
ASLEAD有田とは、湯浅町・広川町を中心とする有田地方の中学校の部活動の地域移行団体です。
平日は各中学校の部活動を行い、休日を地域クラブ活動として一緒に活動し、正式な 1 つのチームとして
中学校の大会に出場しております。少子化における部員不足を解消し、小学校のときに準備していた種目を
続けることができます。また中学校から自分のやりたいクラブ活動を選択して楽しむことができます。子供
たちの将来を大切に考えられる団体を目指しております。
現在、試行種目として「軟式野球部」、「剣道部」、「男女バスケットボール部」の 3 種目が動き出して
います。今後も学校や地域のニーズに合わせ、他の運動部、文化部の地域移行化も検討しております。
まずはこの 3 種目の限定になりますが、是非一度体験に来てみませんか？
ご予約はWEBで
https://forms.gle/UwFjkN7YkAbmYMsX8
有田郡湯浅町青木 688-1
TEL 0737-63-1111
QRコードを
読み取ってください
保護者の方のため、
必要事項をご入力ください

【①ASLEAD有田体験説明会チラシ】

③「中学校部活動地域移行協力金」寄附要項および町広報誌配布

湯浅町民および地域企業に周知



有田の子供たちが
新しい部活動の形で成長できる環境を！
ASLEAD 有田
湯浅町・広川町は少子化の影響により、子供たちが自分の挑戦してみたい部活動に取り組めない
状況が懸念されています。スポーツや文化活動が子供たちの成長に大きな可能性があると信じ、
地域に根ざした体験活動の環境を作り出し、新しい部活動の形を作り上げる。それが「ASLEAD (アスリード) 有田」です。
POINT1 平日は中学校の部活動で実施
休日にスポーツや文化活動に取り組める
活動環境を整えます
平日は中学校の部活動、休日に地域クラブで行います
地域移行のイメージは、全ての部活動が外部で活動されると思いがちで
すが、湯浅町の湯浅町立は「平日」の地域移行を目指しています。
毎年度の平日はこれまで通り、中学校の部活動の活動を継続しています。
中学校からスポーツを始めたか、休日に参加している生徒が加入しやすい環境
や、これまで部活動に関わってきただけの地域の方がこれからは参加しやすい状
況を継続することを目指しています。
今後の部活動の方針により、少しずつ部活動の在り方は変化していくこと
が考えられますが、段階的に生徒や保護者に負担の少ない移行を考えてい
きます。
POINT2 休日は「ASLEAD 有田」で部員を増やせ、
中学校教職員と地域の指導者が教えます
部員・指導者を増やすことで活動あるクラブ運営を実現
現状、部員不足により廃止に検討されているクラブ、大会に出場できずや
つらくなる生徒がいます。その状況を、湯浅町・広川町を平にする有田地方
で協賛して環境を整え、子供たちの部活動が保障されます。
平日と休日で指導者の方針が違えば、生徒は混乱します。また、部活動は
技術の継承だけでなく、学校生活での生徒のよさを伸ばしあわせながら、
心の成長を促す大きな役割があります。その学校生活を見ている教職員が
休日も継続して指導することで、安心して部活動に取り組むことができます。
中学校部活動では、競技経験がなく、専門知識が少ない教員が指導をして
いることもあります。地域の専門的な指導者が、その技術指導を補完します。
大会に出場することを目的とした地域クラブではありません。生徒が十分に
その競技に打ち込むことができる環境づくりのための地域クラブです。
POINT3 中継大会には「ASLEAD 有田」でも、
中学校からでも OK
生徒の選択を最優先に考えます
部員不足で大会に出場できない生徒の受け皿を作り出す
チームが足りない部活動は、この「ASLEAD 有田」から中学校部活動連
合の大会に出場できます。また、現任教員が十分である部活動は、生徒の
意見を尊重し、中学校から出場することを選択することもできます。
さらに、本クラブは剣道連盟やバドミントン連盟が主催する大会には
参加もせず、中学校部活動連合大会のみ出場できるように予定してい
ます。つまり、両クラブに所属している生徒は、そのクラブから連合大会大
会(中継大会)に出場することができ、従来の大会への参加状況と大
な差はありません。
部員以上に、チームメイトと大会に出場し、同じ目標に向かって切磋
琢磨できる。そんな受け皿を目指しています。

【②部活動地域移行への理解を求めるチラシ】

【③中学校部活動地域移行協力金寄附要項】

事務局連絡
令和 6 年 6 月 3 日
湯浅町教育委員会
教育長 堀内 洋

「中学校部活動地域移行事業協力金」寄附のお願いについて

平素は町行政および学校教育にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、年々顕著になっている少子化の影響により、湯浅町をはじめとする有田地方の中学校部活動では、チ
ームが揃わず大会に出場できないことや、練習に満足した人数がそろわず十分な体験活動ができていないなどの
課題が生じております。今後地域の子供たちが自分の好きな文化スポーツを選択できず、体験活動の機会を失
ってしまうことが懸念されております。また、教員の働き方改革の一部として、部活動を地域に移行していく
ことが検討されており、地域から専門性を持った指導者を雇用する必要があると考えております。
そこで、湯浅町教育委員会が主体となり、昨年 12 月に地域クラブ「ASLEAD 有田」を設立し、バスケット
ボール部、剣道部、野球部の地域移行に向けて動いてまいりました。隣接する広川町と連携を図り、未来へと
継続していく団体を目指しており、今後も地域の子供たちや保護者のニーズを十分に把握しながら、種目
を増やしていくことを検討しております。両町の中学校の部活動を合わせることで仲間が増え、会員の更なるモ
チベーションの向上が見られています。また、複数の専門的な指導員から技術指導を受けることができること
が可能になっており、会員から肯定的な意見が寄せられています。
この素晴らしい環境を、持続可能な形で継続していくためには、指導員の謝金や活動のための初期用品の購
入など費用が必要となっております。本クラブの活動にご賛同いただける方がございましたら、下記のとおり、
寄附のご協力をお願い致します。

記

- 募集期間 令和 6 年 6 月 14 日 (金) から令和 6 年 1 月 30 日 (木)
- 申込方法 (様式第 1 号) 寄附申込書を教育委員会事務局よりご提出ください。
- 寄附金の種別 個人の場合 1 回 5,000 円
企業の場合 1 回 50,000 円
※寄附金の入金が確認できし後、控除証明に必要な書類を送付させていただきます。
- 個人情報取り扱いについて
ご寄附いただきました方のご芳名を湯浅町広報紙および ASLEAD 有田ホームページに掲載させていただきます。掲載についてご希望されない寄附者の方については、その旨をお申し出いただきますようお願い致します。寄附金額を含むその他の個人情報掲載はいたしません。
- 問い合わせ先 湯浅町教育委員会事務局 (ASLEAD 有田事務局)
和歌山県有田郡湯浅町青木 688-1 (湯浅町役場内)
電話: 0737-63-1111

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【和歌山地域実業団と連携したバスケットボール講習会】



【元プロ野球選手のおける軟式野球講習会】



【中学校体育連盟主催大会への男女バスケットボール部出場】



【中学校体育連盟主催大会への剣道部出場】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和 5 年

地域、体育協会と
の推進会議の開催

協議会設置、
検討開始

地域クラブ設立
準備委員会設置
規則の検討
試行種目の検討

令和 6 年

地域クラブ活動
の開始

総会、定期的な
理事会の開催

令和 7 年

学校部活動
地域クラブ活動
ガイドライン作成

●ステークホルダー

各小中学校、体育協会、競技団体、教育委員会

●経過

令和 5 年度に意見交流会として、地域および体育協会と推進会議を実施した。地域の中学校部活動の現状と課題を周知し、地域移行の目的を理解していただいた。また、地域の中学校校長、部活動担当と協議を行い、湯浅町だけでは対応できないこと、大会参加を考慮すると中学校部活動と併存する必要があることから、教職員へのアンケートを実施し、至急対応な種目を洗い出した。その後、教育委員会が主体となって任意の地域クラブを設立することが望ましいと判断し、ASLEAD有田の設立に至った。

設立後は、総会、定期的な理事会を運営し、事業の計画や予算の承認、中体連大会への出場申請等を行った。また、次年度の計画や種目増設のため、中学校長へのヒアリング、小学校 6 年生、指導員、会員、指導員へのアンケートを実施した。

●実施にあたって生じた課題

湯浅町は 1 町 1 中であり、少子化対策としての地域移行を推し進める上で、他市町との連携が必須である。しかし、部活動における各学校の事情、市町の部活動への資金の差、地域移行における方針や考え方の差がある等、方向性の統一に非常に時間がかかった。

●実施内容、工夫した点 等

同一種目において、各クラブでの困り感が一致しており、部活動と地域クラブの併存を検討できる種目から初動することで、地域移行についての理解を得ながら進めていった。また、教育委員会が体育協会と連携を取り、学校教育と社会教育のニーズを把握しながら段階的に地域移行を進める方針を決定した。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ[°]

		2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027年度 令和9年度	2028年度 令和10年度
和歌山県 地域移行達成時期のイメージ			改革準備期間		改革実行期間		
和歌山県	協議会	協議会の設置・運営					
		好事例の情報発信 各地域での意見交流会の実施					
	方針・ガイドライン	和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動 の在り方等に関する方針作成	和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動 の在り方等に関する方針周知				
湯浅町	協議会	湯浅町・広川町をはじめとする地域の 協議会の開催	ASLEAD有田総会 定期的な理事会の開催 中学校ヒアリング				
		教育委員会、体育協会、学校との推進会 議の開催					
		地域クラブ設立準備委員会の開催					
	ニーズ把握	児童生徒・教職員へのニーズ調査					
	ASLEAD有田 地域クラブ	ASLEAD有田の設立	試行種目の運用	スポーツ種目の増設 ※文化芸術部の1種目を地域移行	スポーツ・文化芸術部の増設		
	方針・ガイドライン		運動部活動・地域クラブ活動 ガイドラインの検討	運動部活動・地域クラブ活動ガイドライン の策定・改訂			
学校	運営主体		教育委員会主体地域クラブとして運営		NPO法人化の検討を開始	NPO法人化 総合型地域クラブへの統合を検討 教育委員会からの切り離しの検討	
	委託事業		国費事業の実証事業参加				
	部活動再編	全員部活動の廃止	部活動加入自由制の導入	部活動再編成検討			
	ニーズ把握	生徒、教職員を対象とした 部活動の状況把握					